

2017年9月15日

電通と電通デジタル、ツインプラネットと共同で Instagram動画広告の制作・配信ソリューション「MOVIE GENIC」を開発・提供

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）とその100%子会社である株式会社電通デジタル（本社：東京都港区、CEO：榎谷 典洋）は、株式会社 TWIN PLANET（本社：東京都渋谷区、代表取締役：矢嶋 健二、以下「ツインプラネット」）との共同で、Instagram（Instagram）の動画広告を制作・配信するソリューション「MOVIE GENIC」（ムービージェニック）を開発し、9月15日よりサービス提供を開始します。

今日、動画広告はブランド認知や購買意向上を高めることのできる手法として重要視されています。その背景にはスマートデバイスユーザーによる SNS 利用の一般化と、SNS 投稿における動画コンテンツの増加傾向があります。

Instagramもその一つですが、とりわけ女性や若者世代を狙うマーケティング活動においては重要な SNS と考えられており、広告需要も急増しています。

こうした状況を踏まえ、3社ではInstagramに特化した動画広告の制作と配信を行うソリューションを開発・提供することにしました。

今回提供する「MOVIE GENIC」の特徴はその映像センスにあります。Instagram動画広告においては、そのフォトジェニックな世界観にふさわしい映像センスが求められるため、本サービスではInstagramで人気の写真投稿を行っているインスタグラマーたち自らの参加によって、彼らのセンスを取り入れる仕組みを構築しています。これにより、顧客企業はInstagramへの動画広告展開を通じて、ブランド認知や、アプリのインストール、購買意向などの指標を向上させることが可能になります。

本サービスにおける3社の主な役割は、電通はInstagramに関する独自の調査データを生かした戦略的な広告コミュニケーションの提案とコンサルティングを、電通デジタルではクリエイティブチームが動画広告の企画・ディレクションを、運用チームがInstagram Stories※に広告を配信し、その結果をレポートします。ツインプラネットは映像センスを兼ね備えたインスタグラマーたちのマネジメントを行い、所属しているインスタグラマー自身が撮影・編集をします。

今後も電通グループは、顧客企業のさまざまなニーズに応えていくため、多様なプラットフォーム

オームを対象に、より効果的な広告コミュニケーションのあり方を研究し、新しいサービスの開発・提供を進めていきます。



※ 「MOVIE GENIC」ロゴ

<ツインプラネットについて>

社 名：株式会社 TWIN PLANET

所 在 地：東京都渋谷区神宮前 5-3-13 TWIN PLANET BLDG.

設 立：2006年11月1日

代 表 者：代表取締役 矢嶋 健二

資 本 金：1,340万円

従業員数：40名

事業内容：IP（Intellectual Property=知的財産権）を軸に、エンターテインメント分野において幅広い事業を展開。「ヒト・モノ・コト」などあらゆるコンテンツをIPとして捉え、市場調査・企画・PR・コンテンツ開発・商品開発・メディア開発などを手掛ける。また、さまざまなジャンルで活躍する個性的な人材が所属する芸能プロダクションとしての側面も持ち、独自のキャラクタービジネスやイベント事業を実施している。

※ Instagram Stories 広告は、Instagram 初のフルスクリーン広告です。
動画や静止画のオーガニック投稿の間に自然に広告が挟まれ、表示されます。

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部

小川、溪 TEL：03-6216-8041

株式会社電通デジタル 広報担当

竜野 TEL：03-6217-6036

Email：press@dentsudigital.co.jp